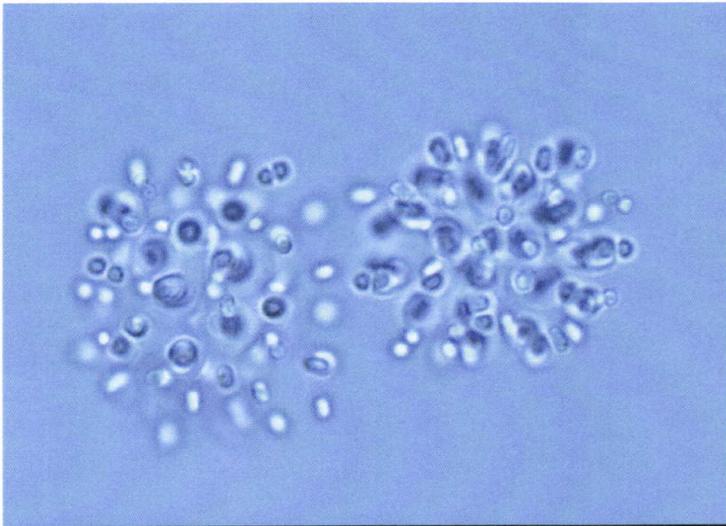
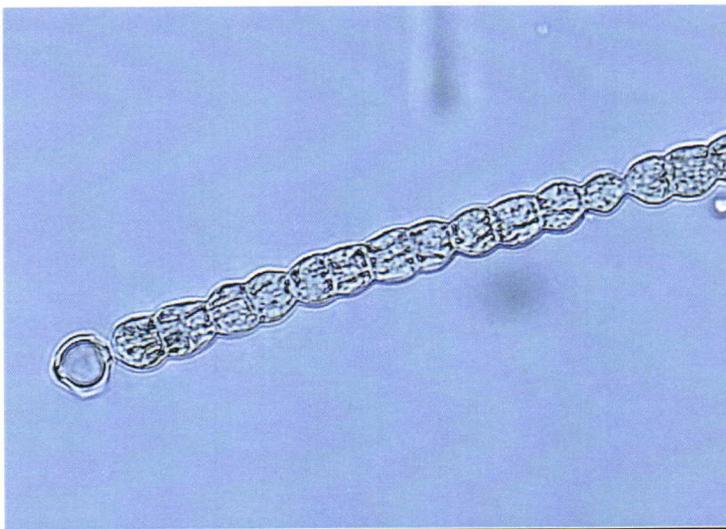


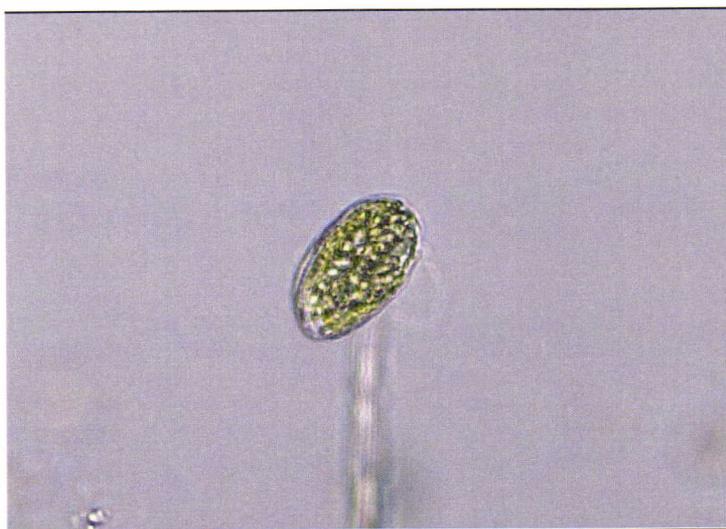
芦ノ湖 植物プランクトン



- ・ 藍藻綱  
クロオコックス目  
クロオコックス科  
*Aphanocapsa* sp.  
(アファノカプサ属の一種)
- ・ H22年10月に若干出現した
- ・ 寒天質に包まれた、球形もしくは楕円形の細胞の群体を形成
- ・ 細胞径: 1~2  $\mu$ m



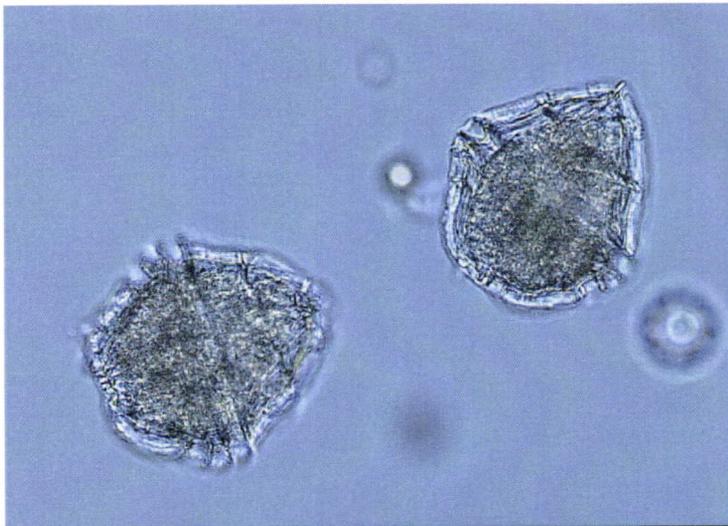
- ・ 藍藻綱  
ネンジュモ目  
ネンジュモ科  
*Anabaena* sp.  
(アナベナ属の一種)
- ・ H22年8月に若干出現した
- ・ 球形の細胞がつながり糸状体を形成し、アキネート(休眠孢子)や異質細胞(本写真先端)の位置や形で分類されます。
- ・ 細胞径: 10  $\mu$ m前後



- ・ クリプト藻綱  
クリプトモナス科  
クリプトモナス目  
*Cryptomonas* sp.  
(クリプトモナス属の一種)
- ・ H22年8月に若干出現した
- ・ 楕円形で、中央部分がガレットと言われるへこみを確認できます。
- ・ 細胞幅: 10~15  $\mu$ m



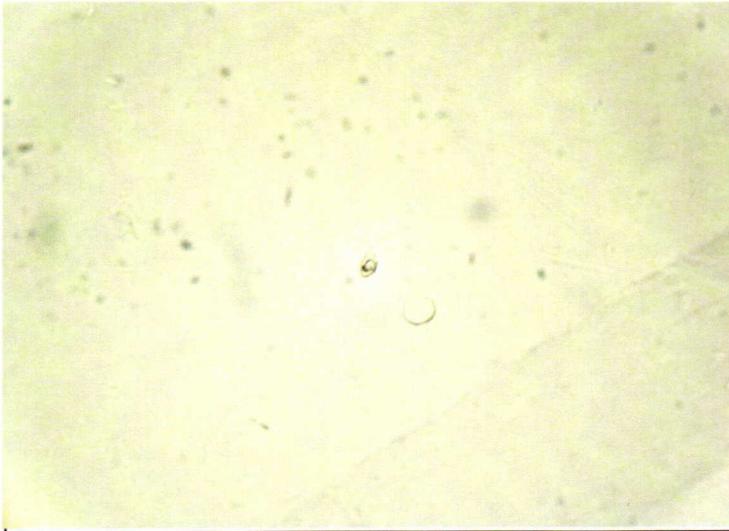
- ・渦鞭毛藻綱  
ペリディニウム目  
ケラティウム科  
*Ceratium hirundinella*  
(ケラチウム ヒルンディネラ)  
和名:ツノモ
- ・H22年8月、H23年2月、H23年4月にそれぞれ若干出現した。
- ・淡水性のものは、本種が一属一種とされ、次のペリディニウムに角が生えたような特徴的な形態です。
- ・細胞幅: 50  $\mu$  m前後



- ・渦鞭毛藻綱  
ペリディニウム目  
ペリディニウム科  
*Peridinium bipes*  
(ペリディニウム ビペス)
- ・毎四季の調査で確認され、特に夏季H22年8月で多かった。細胞体積からすると植物P中芦ノ湖で一番多い種類です
- ・淡水性の大型の渦鞭毛藻で、横溝を中心に上殻と下殻に分かれ、鎧板の枚数と形で分類されます。
- ・細胞幅: 45  $\mu$  m



- ・渦鞭毛藻綱  
ペリディニウム目  
ペリディニウム科  
*Peridinium* sp.  
(ペリディニウム属の一種)



- ・ 黄金色藻綱  
オクロモナス目  
オクロモナス科  
*Ochromonas* sp.  
(オクロモナス属の一種)

2、4月に若干出現した



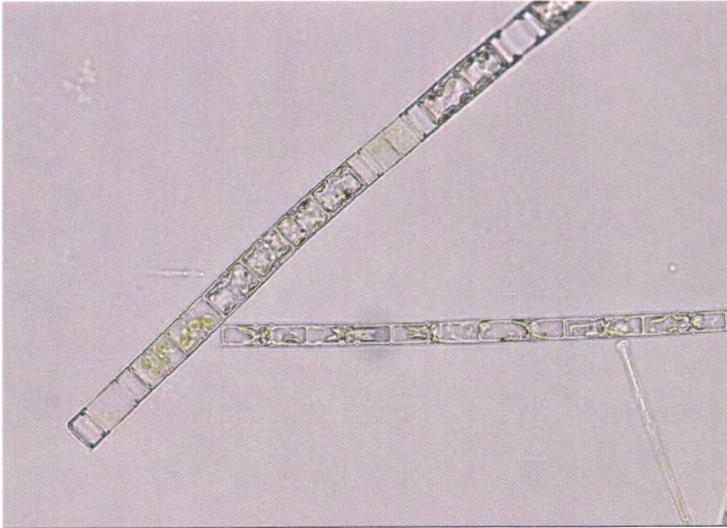
- ・ 黄金色藻綱  
オクロモナス目  
ディノブリオン科  
*Dinobryon sertularia*  
(ディノブリオン セルツラリア)  
和名：(属名)クダサヤツナギ

2、4月に出現し、特に4月に多かった

透明な花瓶のような鞘を持ち、その中に鞭毛をもつ本体がある特徴的な形態



- ・ 珪藻綱  
中心目  
タラシオシラ科  
*Cyclotella radiosa*  
(キクロテラ ラディオサ)  
和名：(属名)ヒメマルケイソウ



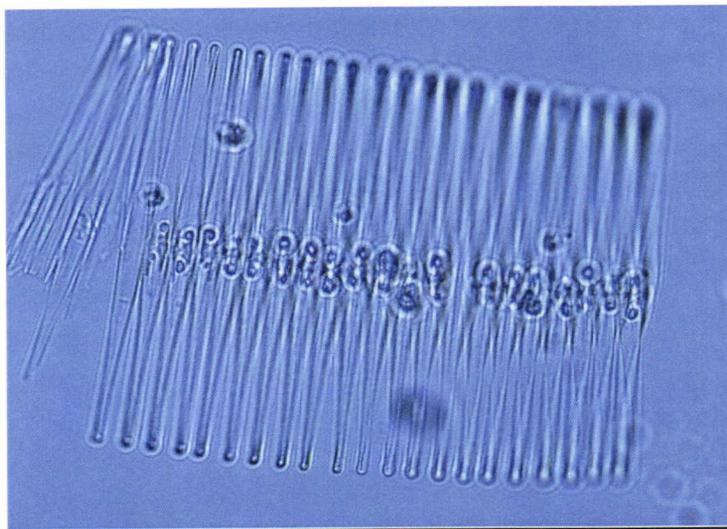
- 珪藻綱  
中心目  
メロシラ科  
*Aulacoseira ambigua*  
(オウラコセイラ アンビグア)

1年をとおして出現したが、特に春4月に多かった



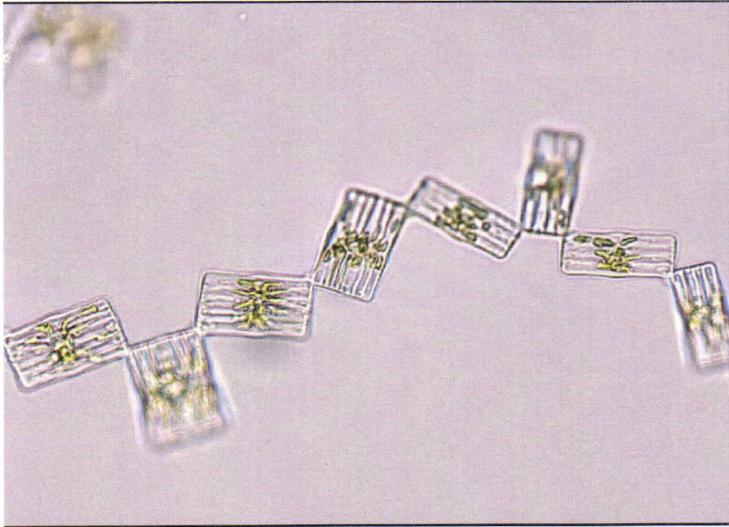
- 珪藻綱  
羽状目  
ディアトマ科  
*Asterionella formosa*  
(アステリオネラ フォルモサ)  
和名: ホシガタケイソウ

2月、4月で出現した。特に4月には第一優占となった

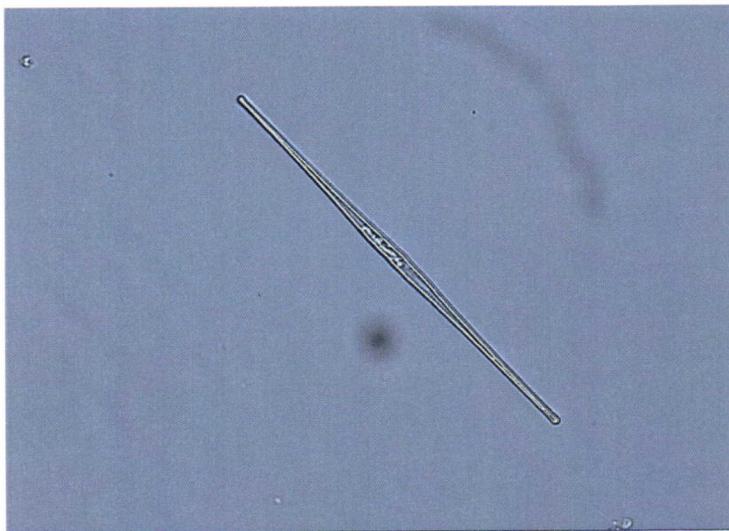


- 珪藻綱  
羽状目  
ディアトマ科  
*Fragilaria crotonensis*  
(フラジラリア クロトネンシス)  
和名: オビケイソウ

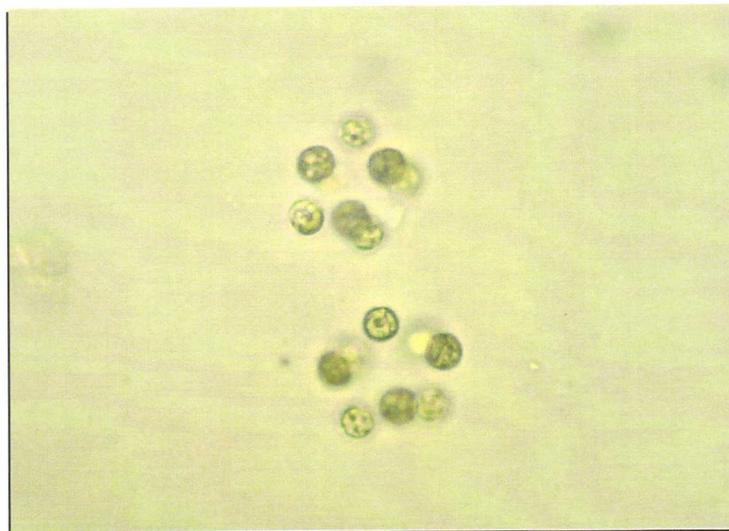
年間をとおして多く出現し、特に8月は第一優占となった



- 珪藻綱  
羽状目  
ダイアトマ科  
*Tabellaria fenestrata*  
(タベラリア フェネストレイタ)  
和名: ヌサガタケイソウ



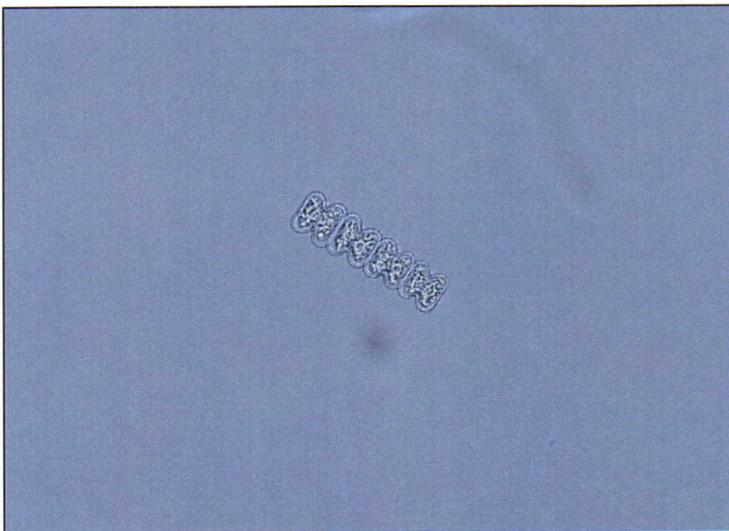
- 珪藻綱  
羽状目  
ダイアトマ科  
*Ulnaria acus*  
(ウルナリア アクス)  
和名: ハリケイソウ



- 緑藻綱  
クロロコックム目  
パルメラ科  
*Sphaerocystis schroeteri*  
(スファエロキスチス シュロエテリ)



- 緑藻綱  
クロロコックム目  
オオキシテイス科  
*Oocystis* sp.  
(オオキシテイス属の一種)



- 緑藻綱  
クロロコックム目  
ツヅミモ科  
*Spondylosium* sp.  
(スポンジロシウム属の一種)

芦ノ湖 動物プランクトン



肉質鞭毛虫門  
葉状根足虫綱  
ナベカムリ目  
フセツボカムリ科  
*Centropyxis aculeata*  
(ケントロピクシス アクレアタ)



肉質鞭毛虫門  
糸状根足虫綱  
グロミア目  
ウロコカムリ科  
*Euglypha* sp.  
(ユウグリファ属の一種)

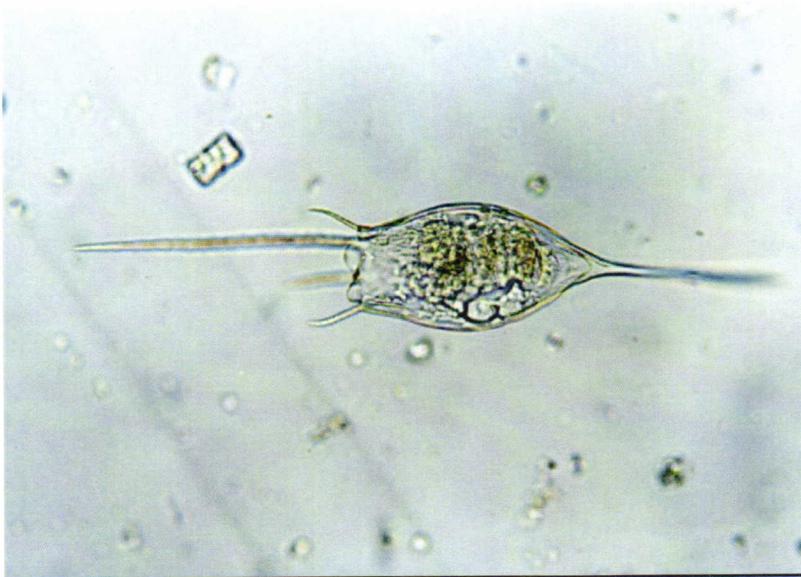


繊毛虫門  
多膜綱  
少毛目  
フデヅツカラムシ科  
*Tintinnidium* sp.  
(チンチニディウム属の一種)

芦ノ湖 動物プランクトン



繊毛虫門  
多膜綱  
少毛目  
*Oligotrichida*  
(オリゴトリチダ) = 少毛目



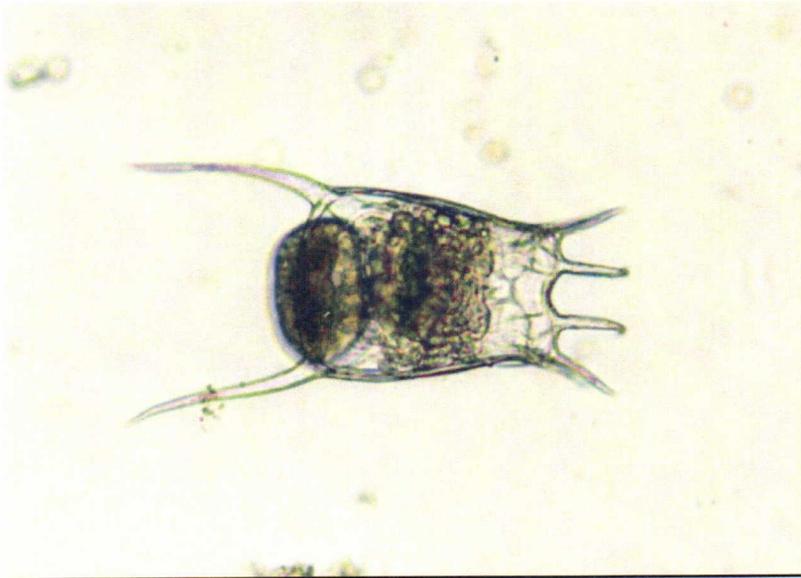
輪形動物門  
単生殖巣綱  
ワムシ目  
ツボワムシ科  
*Kellicottia longispina*  
(トゲナガワムシ)

1年をとおし出現したが、特に2月第一優占となった。

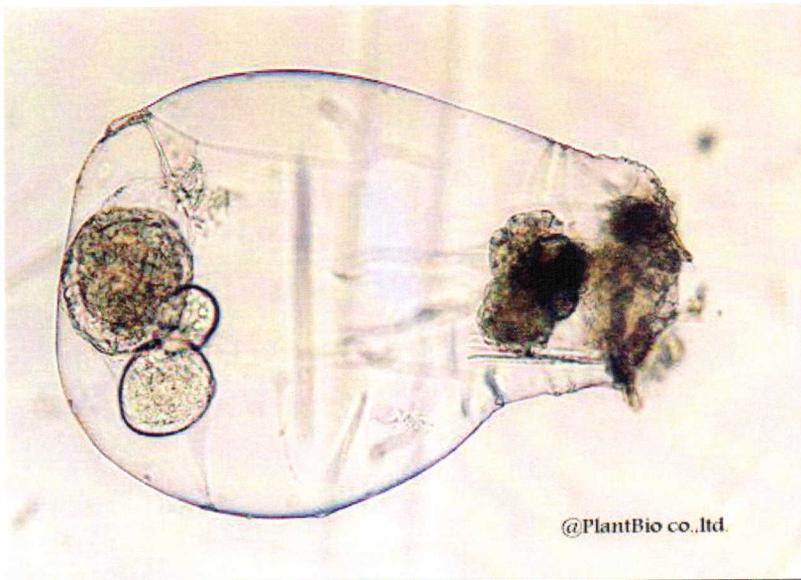


輪形動物門  
単生殖巣綱  
ワムシ目  
ツボワムシ科  
*Keratella cochlearis*  
(カメノコウワムシ)

芦ノ湖 動物プランクトン



輪形動物門  
単生殖巣綱  
ワムシ目  
ツボワムシ科  
*Keratella quadrata*  
(コシブトカメノコウワムシ)



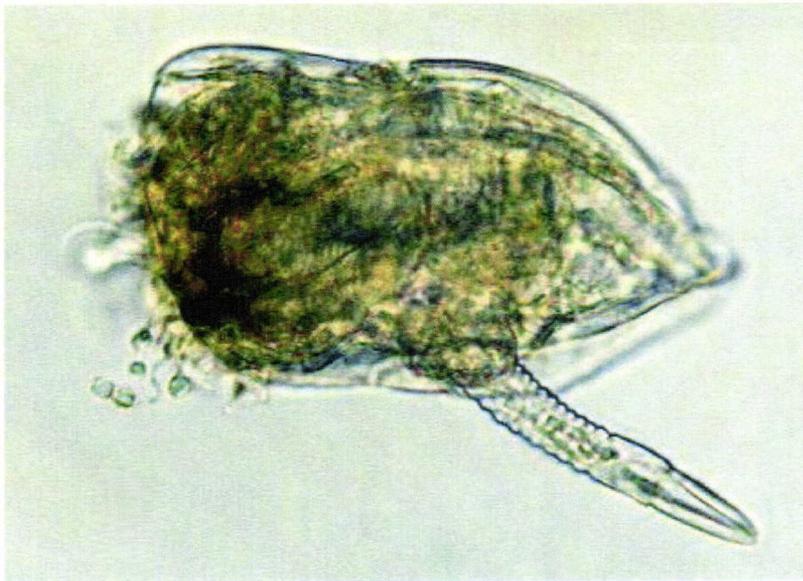
輪形動物門  
単生殖巣綱  
ワムシ目  
フクロワムシ科  
*Asplanchna* sp.  
(フクロワムシ属の一種)

主に8月に出現し、優占上位種となった



輪形動物門  
単生殖巣綱  
ワムシ目  
ネズミワムシ科  
*Trichocerca* sp.  
(ネズミワムシ属の一種)

芦ノ湖 動物プランクトン



輪形動物門  
単生殖巣綱  
ワムシ目  
ドロワムシ科  
*Ploesoma truncatum*  
(スジワムシ)



輪形動物門  
単生殖巣綱  
ワムシ目  
ドロワムシ科  
*Polyarthra euryptera*  
(ヒロハネウデワムシ)

8月に出現し、優占上位種となった



輪形動物門  
単生殖巣綱  
ワムシ目  
ドロワムシ科  
*Synchaeta* sp.  
(ドロワムシ属の一種)

芦ノ湖 動物プランクトン



輪形動物門  
単生殖巣綱  
マルサヤワムシ目  
ミツウデワムシ科  
*Filinia longiseta*  
(ウデナガミツウデワムシ)



輪形動物門  
単生殖巣綱  
マルサヤワムシ目  
テマリワムシ科  
*Conochilus unicornis*  
(ツノテマリワムシ)

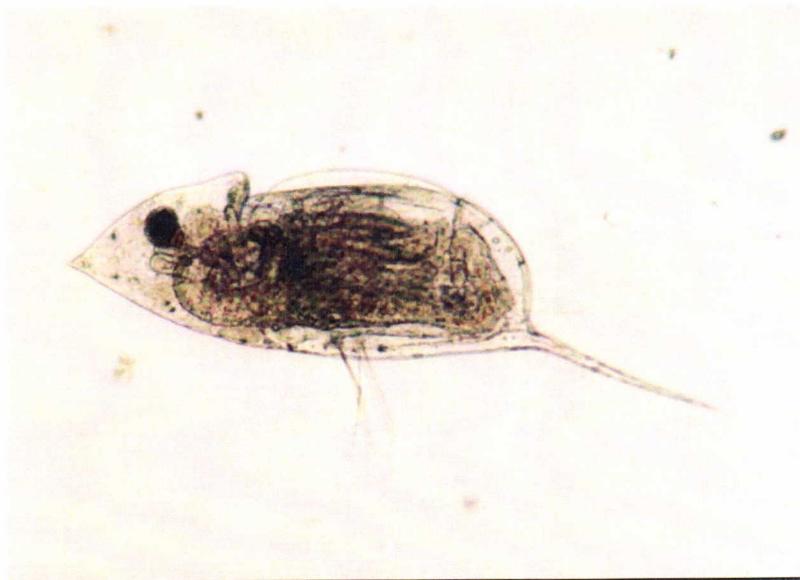


輪形動物門  
単生殖巣綱  
ハナビワムシ目  
ハナビワムシ科  
*Collotheca* sp.  
(ハナビワムシ属の一種)

芦ノ湖 動物プランクトン



節足動物門  
ミジンコ綱  
ミジンコ目  
シダ科  
*Diaphanosoma* sp.  
(オナガミジンコ属の一種)



節足動物門  
ミジンコ綱  
ミジンコ目  
ミジンコ科  
*Daphnia galeata*  
(カブトミジンコ)

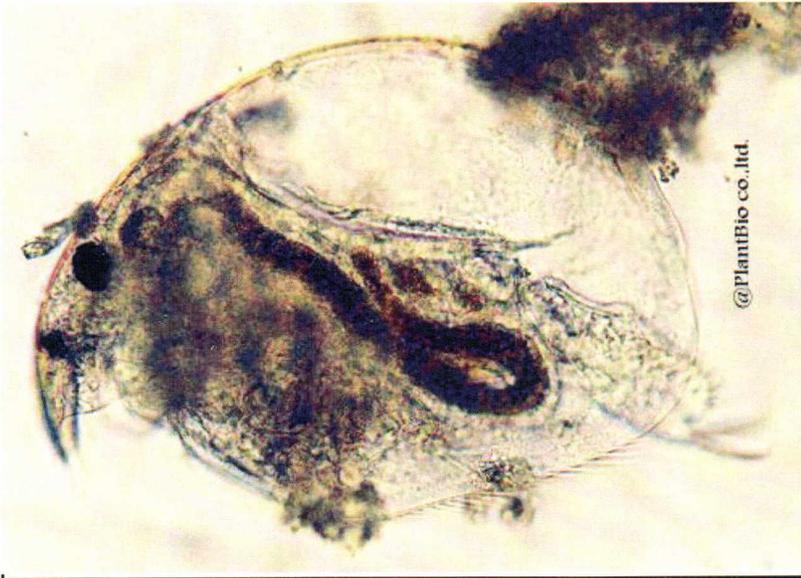
8、10、4月と出現し、特に8月に第二優占となったが、質的に大きいため芦ノ湖の魚類の餌料生物としてキーとなる重要な種類



節足動物門  
ミジンコ綱  
ミジンコ目  
ゾウミジンコ科  
*Bosmina longirostris*  
(ゾウミジンコ)

10、2、4月に出現し、4月に第一優占となった。上のカブトミジンコと、時期をずらして増加している

芦ノ湖 動物プランクトン



節足動物門  
ミジンコ綱  
ミジンコ目  
マルミジンコ科  
*Alona* sp.  
(シカクミジンコ属の一種)



節足動物門  
ミジンコ綱  
ミジンコ目  
ノロ科  
*Leptodora kindtii*  
(ノロ)

8月にわずかに出現した

ゾウミジンコを餌とする最大のミジンコ  
の仲間です



節足動物門  
アゴアシ綱  
カラヌス目  
ヒゲナガケンミジンコ科  
*Eodiaptomus japonicus*  
(ヤマトヒゲナガケンミジンコ)

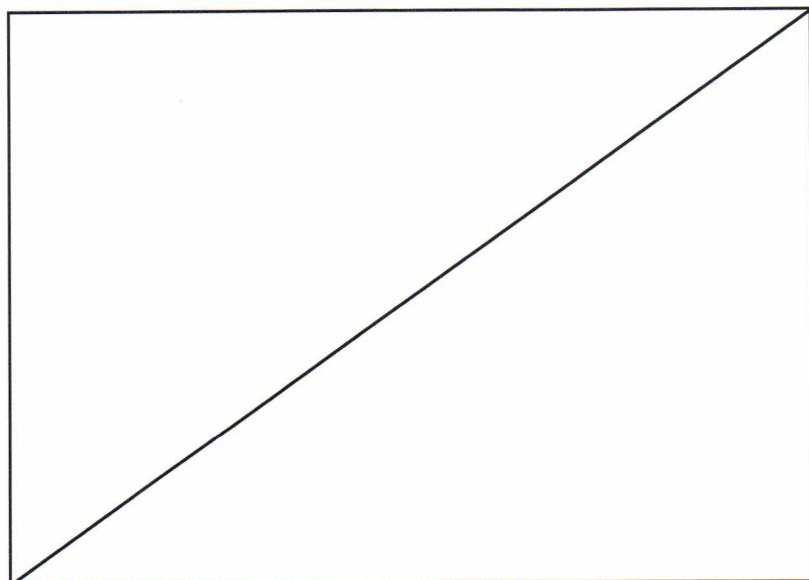
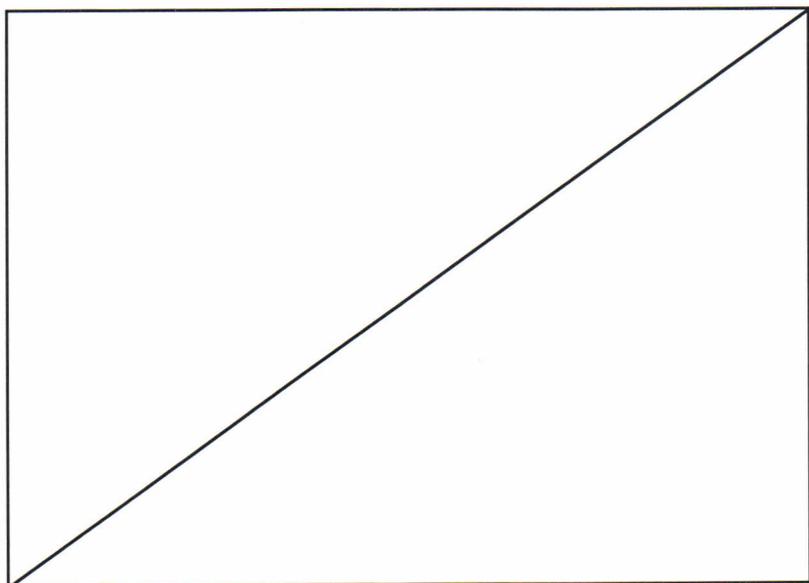
10月のみ若干出現した

芦ノ湖 動物プランクトン

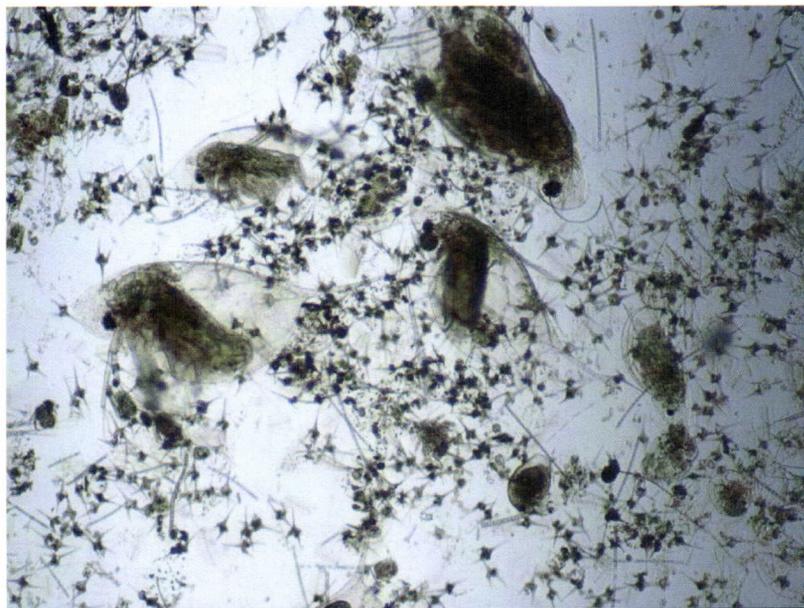


節足動物門  
アゴアシ綱  
カラヌス目  
ケンミジンコ科  
*Cyclops vicinus*  
(オナガケンミジンコ)

1年をとおり出現し特に、2、4月に多かった



ネット法によるプランクトンの季節変化



夏季  
2010. 08. 02

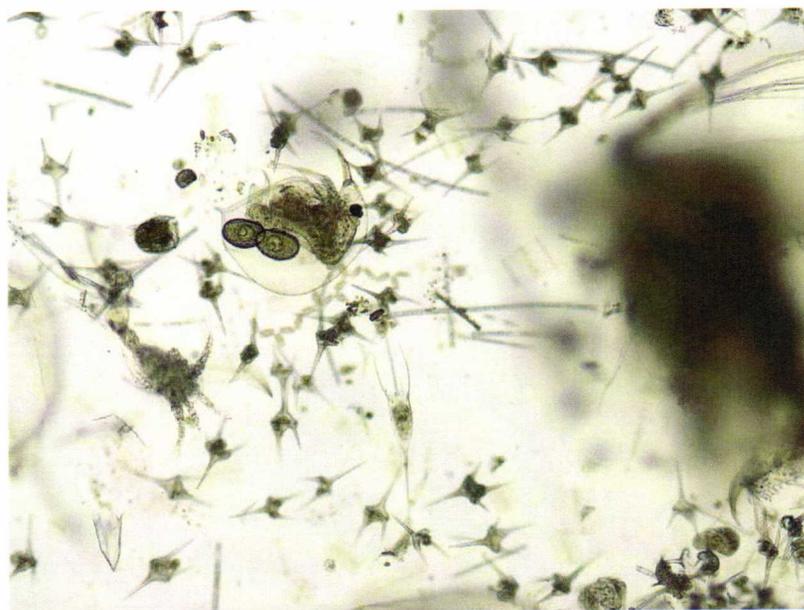
×25

※倍率について記載の倍率は、顕微鏡レンズですので、印刷状態により異なります。

※使用採集プランクトンネット生地

名称	目開き
NXX13	100 $\mu$ m

※注) 写真は上記ネットにて鉛直引きにより濾過したサンプルです。100  $\mu$ mに満たない小さな植物プランクトンなどは、抜けてしまいます。



夏季  
2010. 08. 02

×50

ポイント！:カプトミジンコとゾウミジンコの大きさの違いに注目！

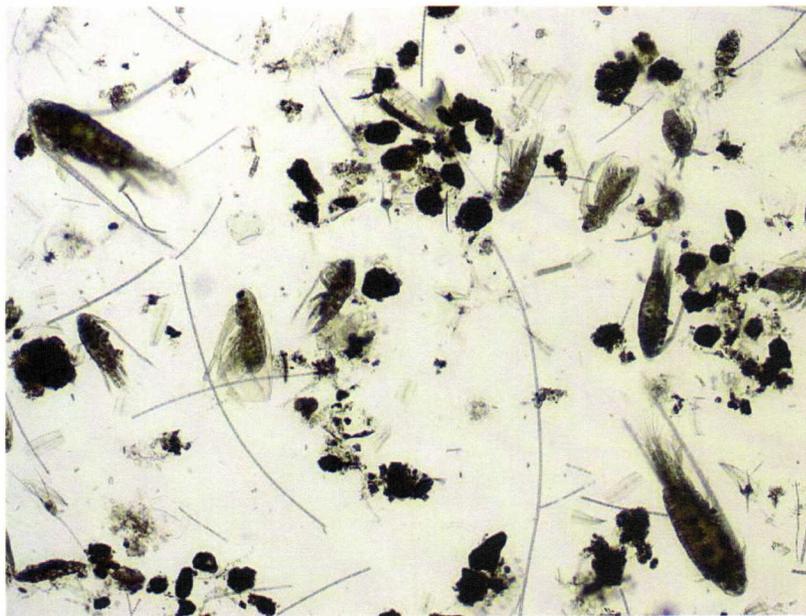


夏季  
2010. 08. 02

×100

ツノモやワムシその他珪藻類

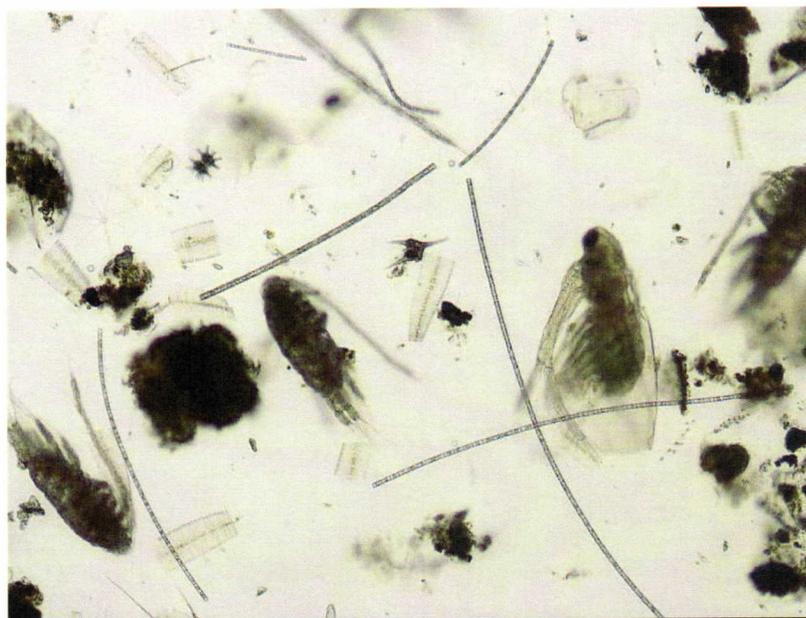
ネット法によるプランクトンの季節変化



秋季  
2010. 10. 15

×25

ケンミジンコが多く出現しています



秋季  
2010. 10. 15

×50



秋季  
2010. 10. 15

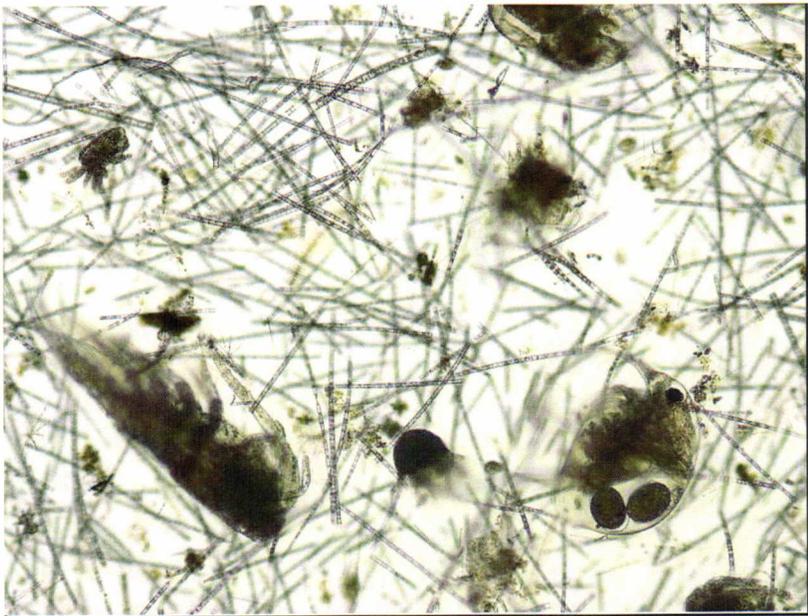
×100

ネット法によるプランクトンの季節変化



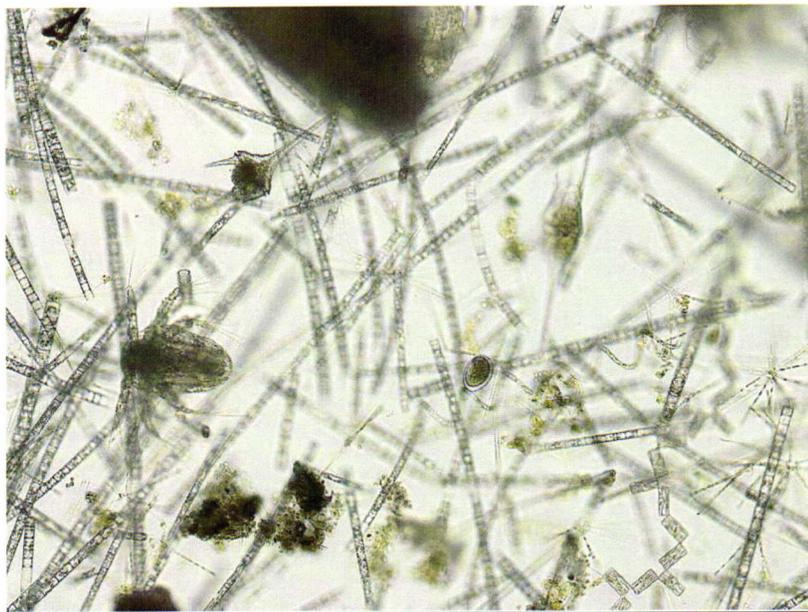
冬季  
2011. 02. 07

×25



冬季  
2011. 02. 07

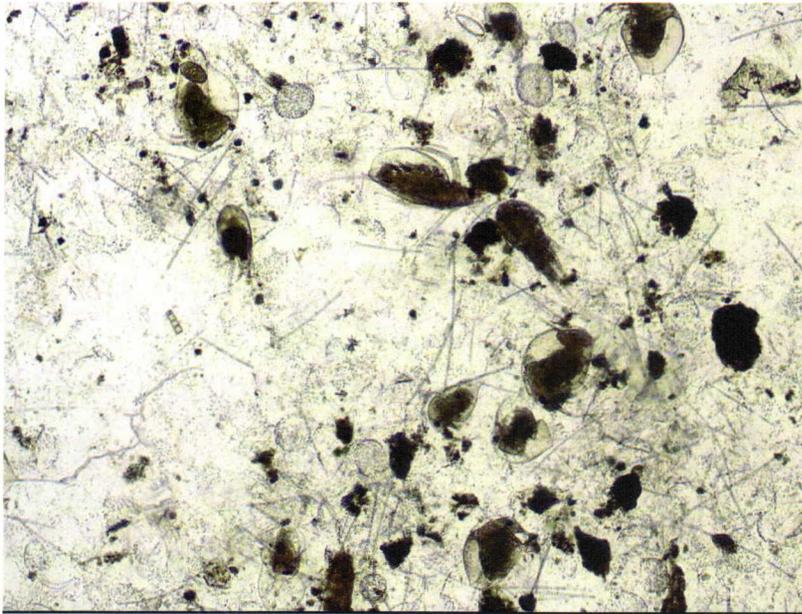
×50



冬季  
2011. 02. 07

×100

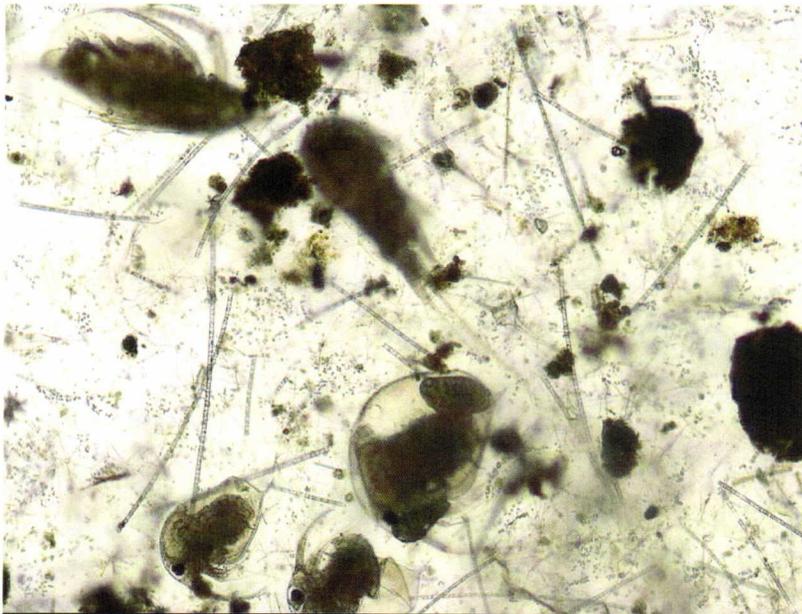
ネット法によるプランクトンの季節変化



春季  
2011. 04. 20

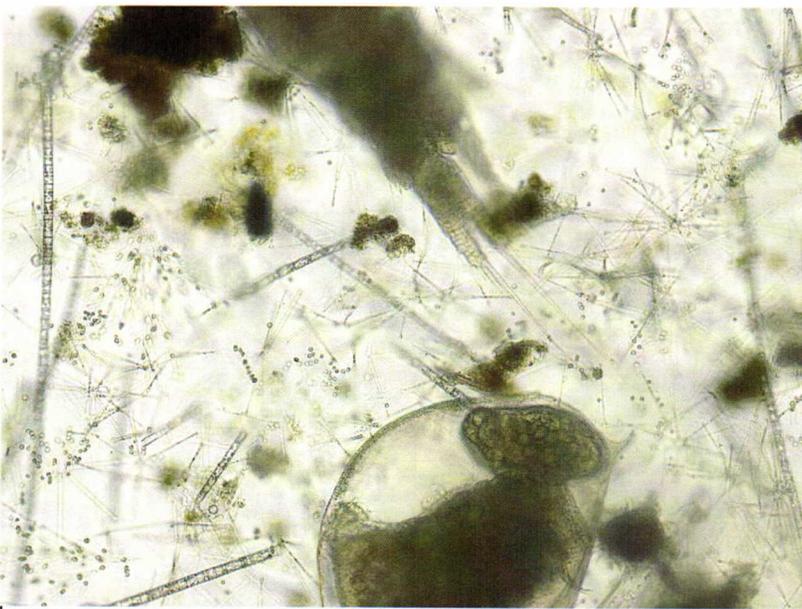
×25

この時期、動物では、ゾウミジンコが  
優占種となります



春季  
2011. 04. 20

×50



春季  
2011. 04. 20

×100

植物のクダサヤツナギや珪藻類が  
繁茂し、まさに春のブルーミングで  
す